

2019年10月31日

中野区長 酒井直人 様

公益社団法人 日本建築家協会 中野地域会
代表 白江 龍三

哲学堂公園とその学習展示施設の基本計画再検討に関する要望書

謹啓

日頃より建築やまちづくりを通じた中野区の文化向上にご理解を示されていることに、建築家の地域団体として敬意を表します。

さて、もとより「哲学堂公園再生整備基本計画再検討業務」は入札にはなじまないと弊会は捉えておりましたが、結局は価格競争で今般、落札・発注されたため、文化向上の観点からは危惧も抱くところです。

国の名勝指定を目指すこの公園全体の稀有な価値に鑑みて、委託先ともご協議の上、以下の点をぜひとも実現して頂けるよう、ここにお願い申し上げます。

- ① 哲学堂公園とその学習展示施設の基本計画の再検討にあたっては、区民ならびに区内の専門家団体や、井上円了が創始した東洋大学をはじめとする学術関係者と、密接に連携・協力するよう望みます。
- ② 円了による哲学堂の企図の原点に立ち返り、回遊式公園ならびにその建築群に込められた理念に呼応した計画となるよう、望みます。
- ③ 2018年の庁議のとおり「旧野方配水塔との一体的な計画とし、これらの歴史・背景を汲んだ、文化財としての本来的価値を高める」ように望むところですが、今回の業務委託範囲のみではこれを達成するに不足すると思われまので、「本来的価値」をどのように高めるべきかについては、今回の発注の中間成果を基にした、別途の公開提案競技の実施を強く望みます。

特に③に記した公開提案競技は、哲学堂の名に相応しい、「考えることの価値」を十分に表現した公園ならびに施設群として再結実するために不可欠と考えますので、ご高配をお願いする次第です。

競技の実施に必要な助言等をお求めの際には、地域の専門家集団として、可能な範囲で努めてこれに対応させて頂く所存です。

以上、よろしくお願い申し上げます。

敬白

※ これまでに弊会からお届けした関連の要望書類も、ご参考までに添付いたします。

2018年8月29日

中野区長 酒井直人 様

公益社団法人 日本建築家協会 中野地域会
代表 小西 敏正

哲学堂公園 学習展示施設に関する質問ならびに提案

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、先日は貴重なお時間を頂き、諸案件についてのお考えを伺えましたこと、
ありがとうございます。

さて、その案件の一つに、哲学堂公園 学習展示施設がありますが、お会いした
際にお伝えしたとおり、次ページに添付の要望書を、実質的に施設設計を所轄さ
れている施設分野あてに、4月11日にお届けしております。
届けた際、設計を進めるに当たって必要に応じ、弊会の意見をお訊き下さる旨、
所轄の方々から拝聴しましたが、特にご連絡無く今日に至っております。

そこで、表題の施設（展示内容ではなく、建物自体）の区としての文化的位置づ
けや発信力について、新区長としてのお考えのほどを、改めてお聞かせ下さい。
また、区長のご方針をこの施設の設計に反映する具体的なお見通しについても、
ご教示いただけますと幸いです。

ご高承のとおり、哲学堂は、開設者である井上円了がその哲学者としての思想世
界を回遊式の庭園とその中の建築の小作品群という形で表現したものです。哲学
の様々な課題を目に見える造形に託すという、哲学堂のこの基本的性格は、今回
の学習展示施設の増設においても継承されることがぜひとも望ましく、そうして
はじめて井上円了の企てに副う「哲学堂の施設」となる、と考えます。

哲学は時代とともに生きるものであつて、世界が様々な課題に直面している変革
期の今こそ、哲学が多くを担う時であり、哲学堂もその新たな施設とともに広く
存在意義を発信する好機です。

哲学堂は、中野が誇るべき知的財産であり、これを守り育てることによって地域
に大きな富をもたらす可能性がありますから、規模の小さいこの学習展示施設に
ついて建設行為の見直し修正を行っても、費用対効果を大局的には増やすことにな
ると考えられます。「考えることの価値」が現れやすい施設です。

ぜひこの際、多方面の意見を集めて再検討下さいますよう、提案申し上げます。

敬白

2018年4月11日

中野区 施設分野 御中

公益社団法人 日本建築家協会 中野地域会

代表 小西 敏正

謹啓

日頃より中野区の建築水準の維持・向上のために尽力なさっていることに、地域の専門家団体として、敬意を表します。

さて、設計中の 哲学堂公園 学習展示施設は、公園全体との一体性をもって捉えられるものと言えますが、これにつき以下の点をご配慮いただきたく、また委託先ともよろしくご協議のほど、お願い申し上げます。

- ① 哲学堂公園の原設計や園内の古建築の設計に井上円了が込めた考え方に倣い、（形・色の面で現存の古建築を考慮するよりもむしろ、）新しい施設の姿に今日的な哲学上の課題(*)を何がしか反映させて下さい。

来訪者への「なぞかけ」の要素があると望ましいと考えます。

<*上記を標語にした 一例>

- (1) 人工的な知能の発達を前に「知」の本質
- (2) 生命科学の発達を前に「生」の本質
- (3) 意思共有の地球的変革を前に「心」の本質
- (4) 終局へと近づく資本主義の展開を前に、「富」の本質
- (5) 環境・宇宙の有限性を前に「進歩」の本質

- ② 建物自身が一つの展示物であり、かつ学習の対象である、という観点で設計されるよう、望みます。

- ③ エコロジーを考慮したことが、来訪者に判るような設計を望みます。

以上、ご検討ください。

なお、上記につき、説明が必要な場合には、ご下命ください。

謹白